

平成23年度  
緊急雇用創出事業  
横手市生物実態調査事業

報告書  
(概要版)

平成24年3月  
(株) 自然科学調査事務所



横手市生物実態調査  
調査概要..... 1

横手市生物種目録  
整理結果概要..... 3

分類別整理結果

昆虫類..... 4

魚類..... 5

鳥類..... 6

両生類..... 7

爬虫類..... 7

哺乳類..... 8

その他の動物(底生動物)..... 9

植物..... 10

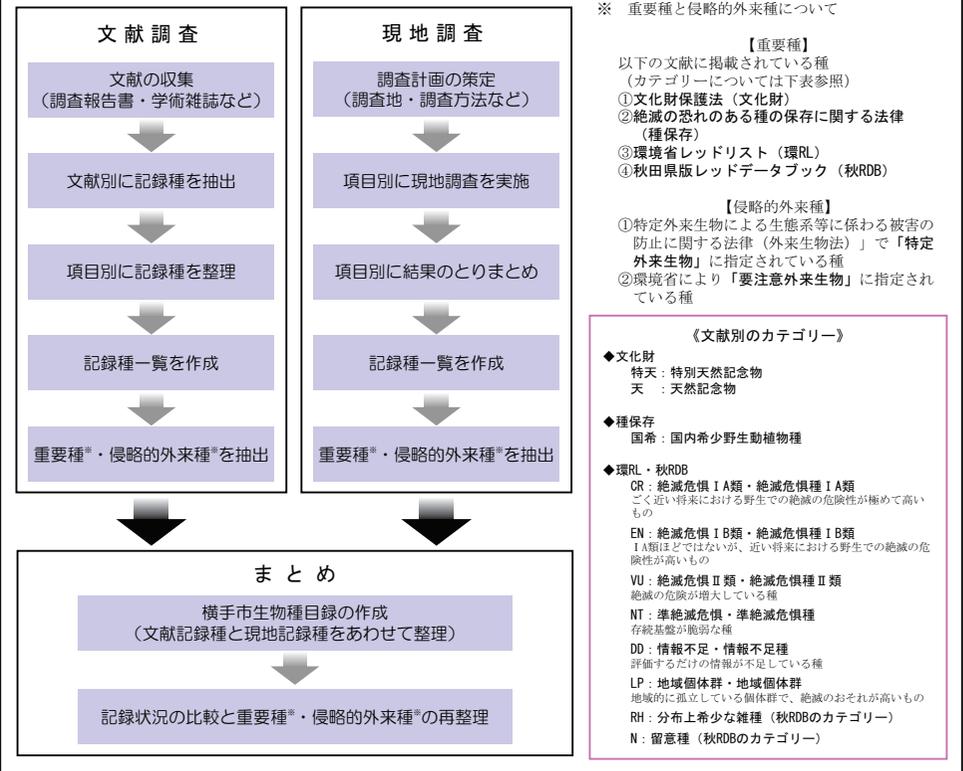
横手市生物実態調査  
調査概要

平成23年4月1日～平成24年3月31日

調査の目的

横手市環境基本計画に掲げる生物多様性の保全と生息環境の保護、人間と生物が共存できる環境を守る取組等の実践や、今後の施策展開、計画の見直し等への活用を図るため、市内全域を対象として動植物の生息分布状況の調査・把握を行い、基礎資料としてまとめる。

調査の流れ



現地調査項目と実施時期

調査項目	回数	調査月									
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	
魚類調査	河川	2回			■						
	溜池	1回					■				
底生動物調査	河川	2回			■			■			
	溜池	2回				■			■		
植物調査	2回		■	■	■	■	■	■	■		
昆虫類調査	3回		■	■	■	■	■	■			
鳥類調査	2回	■	■							■	
両生類・爬虫類・哺乳類調査	2回			■	■	■	■	■	■		

※ 上記の他、補足的な現地調査を工期内に実施した。また、植物については植物相調査の他、群落組成調査を行い、植生図を作成した。

# 横手市生物種目録 整理結果概要

## 収集文献の概要

### 【収集文献】

国、県や市町村などの公的機関が実施した調査報告書およびその他学術雑誌等を収集し、全体で167の文献を対象に文献調査を実施した。

項目	調査報告書	その他
底生動物	33	0
昆虫類	10	75
魚類	41	2
鳥類	6	0
両生類	4	2
爬虫類	2	2
哺乳類	8	0
植物	20	36
計	51	116

## 横手市生物種目録・整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	まとめ
底生動物	◇記録種：191種 ◇重要種：17種 ◇侵略的外来種：2種	◇記録種：168種 ◇重要種：15種 ◇侵略的外来種：2種	◇記録種：42種 ◇重要種：9種 ◇侵略的外来種：2種
昆虫類 (陸上)	◇記録種：2,650種 ◇重要種：41種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：2,572種 ◇重要種：10種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：3,710種 ◇重要種：57種 ◇侵略的外来種：0種
魚類	◇記録種：47種 ◇重要種：16種 ◇侵略的外来種：4種	◇記録種：43種 ◇重要種：15種 ◇侵略的外来種：3種	◇記録種：48種 ◇重要種：16種 ◇侵略的外来種：4種
鳥類	◇記録種：154種 ◇重要種：52種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：108種 ◇重要種：31種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：160種 ◇重要種：56種 ◇侵略的外来種：0種
両生類	◇記録種：13種 ◇重要種：4種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：14種 ◇重要種：3種 ◇侵略的外来種：1種	◇記録種：15種 ◇重要種：4種 ◇侵略的外来種：1種
爬虫類	◇記録種：7種 ◇重要種：1種 ◇侵略的外来種：1種	◇記録種：8種 ◇重要種：1種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：10種 ◇重要種：2種 ◇侵略的外来種：1種
哺乳類	◇記録種：15種 ◇重要種：6種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：21種 ◇重要種：9種 ◇侵略的外来種：0種	◇記録種：23種 ◇重要種：10種 ◇侵略的外来種：0種
植物	◇記録種：1,426種 ◇重要種：217種 ◇侵略的外来種：32種	◇記録種：971種 ◇重要種：77種 ◇侵略的外来種：28種	◇記録種：1,482種 ◇重要種：230種 ◇侵略的外来種：33種
横手市生物種目録 (動物)			◇記録種：4,008種 ◇重要種：145種 ◇侵略的外来種：8種
横手市生物種目録 (植物)			◇記録種：1,482種 ◇重要種：230種 ◇侵略的外来種：33種

※ 底生動物と昆虫類について、「まとめ」に示した種数は横手市生物種目録として整理された値であり、底生動物では水生昆虫類を除いた計数結果、昆虫類では底生動物で記録された水生昆虫類を含めた計数結果を示した。

## 現地調査位置



『調査地の選定にあたって』  
公的機関により実施された調査報告書を整理した結果、それらは平野部の水辺（河川、水路、圃場など）に関わるものがほとんどであった。そのため、今回の調査は、山間部～山岳部に焦点をあてて調査地を選定した。

- ◆陸域の動物  
昆虫類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類を対象にした。陸域の調査地は10地区を設けた。特別に境界を設けることなく大まかに設定し、限り広い範囲で調査できるようにした。また、旧市町村の各地域にまんべんなく配置した。
- ◆水域の動物  
魚類と底生動物を対象にした。水域の調査地は河川5地点、溜池10地点を設けた。溜池の調査では、周辺に複数の溜池がある場合や付随する水路がある場合は調査箇所を含めた。
- ◆植物  
植物の調査地は、陸域の動物の各調査地区周辺に2地点、その他任意に10地点の計30地点を設けた。  
※調査地点の変更があったため、図中には30ポイント以上表示されている。

## 現地調査方法

- ① 魚類調査  
投網、タモ網、サデ網、定置網、刺網、セルびん、もんどり、はえなわなどの漁具を使用して魚類を採捕した。
- ② 底生動物調査  
D型フレームネットを使用して底生動物を採集した。
- ③ 植物調査  
現地を踏査し、生育が確認された植物を記録した（必要に応じて採取し同定を行った）。
- ④ 昆虫類調査  
任意採集法（見つけ採り法、スワイピング法、ビートング法など）、ライトトラップ法、ベイトトラップ法により昆虫類を採集した。
- ⑤ 鳥類調査  
現地を踏査し、目視または鳴き声により識別された鳥類を記録した。
- ⑥ 両生類・爬虫類・哺乳類調査  
目撃法、捕獲法、フィールドサイン法、トラップ法（ジャーミライフトラップ）、無人撮影法により確認された種を記録した。



魚類調査  
タモ網



底生動物調査  
D型フレームネット



植物調査  
目視・採取



鳥類調査  
目視・鳴き声



昆虫類調査  
見つけ採り法



昆虫類調査  
ライトトラップ法



両生類・爬虫類調査  
目撃法・捕獲法



哺乳類調査  
トラップ法

# 昆虫類

文献調査 対象文献: 85  
 現地調査 陸域の調査地区: 10地区

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	2,650 種	2,572 種	3,710 種
重要種	41 種	10 種	57 種
侵略的外来種	0 種	9 種	0 種

※ 横手市生物種目録に示した種数は、底生動物調査で記録された水生昆虫類を含めた計数結果。

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 コバネイトトンボ	環RL:CR+EN 秋RDB:N	31 プライヤリガ	秋RDB:DD
2 モートンイトトンボ	環RL:NT 秋RDB:NT	32 ヒメクルマコガ	秋RDB:DD
3 アホウドトンボ	秋RDB:NT	33 アカマエツバ	秋RDB:DD
4 ムカシトンボ	秋RDB:NT	34 ウキキリガ	秋RDB:NT
5 マダラヤンマ	秋RDB:NT	35 ネグロウギ	環RL:DD
6 コシホシヤンマ	秋RDB:CR	36 アカカビロオサシ	秋RDB:DD
7 ミヤマサエ	秋RDB:NT	37 フクチセゲヒラタコミムシ	秋RDB:NT
8 ヤマサエ	秋RDB:NT	38 ネハシヨウ	環RL:NT 秋RDB:EN
9 ホンサエ	秋RDB:CR	39 ゲンゴ	環RL:NT
10 アサエ	秋RDB:CR	40 マルコガタノゲンゴロウ	種保存:国希 環RL:CR+EN 秋RDB:NT
11 材トウトンボ	秋RDB:NT	41 エビゲンゴロウモドキ	環RL:VU 秋RDB:N
12 エゾトンボ	秋RDB:NT	42 マカダシノ	環RL:NT
13 ハチョウトンボ	秋RDB:NT	43 エビコガシ	環RL:NT
14 ヒメアサエ	秋RDB:NT	44 ヤマトモンシメシ	環RL:NT
15 フライソアミマカワケラ	環RL:NT	45 カシドムシ	環RL:NT
16 ホツミスミ	環RL:NT	46 コヤマセガナガミキ	秋RDB:NT
17 ヲマガロビケラ	秋RDB:DD	47 コラガミキ	環RL:NT
18 キンチモンシセリ	環RL:NT 秋RDB:N	48 ウラノハチ	環RL:NT
19 シンゴロウハチセリ	秋RDB:N		
20 オオゴマシジミ	環RL:NT 秋RDB:N		
21 ヒメシジミ本州・九州亜種	環RL:NT 秋RDB:N		
22 ウキノシジミヒョウモン	環RL:NT		
23 オオムササビ	環RL:NT 秋RDB:N		
24 ヒメギフチョウ本州亜種	環RL:NT 秋RDB:N		
25 ヒメシロチョウ	環RL:VU 秋RDB:VU		
26 ウスキミズメカ	秋RDB:EN		
27 ゲンカイガタシヤチホコ	秋RDB:DD		
28 カマダラヨトウ	秋RDB:DD		
29 ガマトウ	秋RDB:NT		
30 シロシキウハ	秋RDB:EN		

和名黒: 文献・現地の両調査で確認  
 和名青: 現地調査で確認できなかった種  
 和名赤: 現地調査で新たに確認された種

侵略的外来生物確認されていない。

## 《注目種》

### 国内希少野生動物植物種に指定されている種

#### ◆マルコガタノゲンゴロウ

マルコガタノゲンゴロウは、平成24年4月に「絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律」で「国内希少野生動物植物種」に指定された（希少野生動物植物種の指定を受けた種は、捕獲・採取、販売や譲渡などが原則禁止される）。環RDBでは最も絶滅の危険性が高い絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）に指定されている。秋田県は希にみる多産県とされており、秋RDBでの評価は準絶滅危惧種（NT）となっている。

現地調査では、横手地域の溜池で生息が確認された。



マルコガタノゲンゴロウ

# 魚類

文献調査 対象文献: 42  
 現地調査 河川: 5地点 × 2回 溜池: 10地点 × 1回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	47 種	43 種	48 種
重要種	16 種	15 種	16 種
侵略的外来種	4 種	3 種	4 種

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 スナヤツメ	環RL:VU 秋RDB:NT	11 サクラマス(ヤマメ)	環RL:NT
2 カワヤツメ	環RL:VU	12 メダカ北日本集団	環RL:VU 秋RDB:NT
3 ヤリタナゴ	環RL:NT 秋RDB:NT	13 トミヨ属雄物型	環RL:CR 秋RDB:CR
4 アカヒレタビラ	環RL:EN 秋RDB:NT	14 トミヨ属淡水型	環RL:LP 秋RDB:VU
5 ゼニタナゴ	環RL:CR 秋RDB:CR	15 カジカ大卵型	環RL:NT
6 エゾウグイ	環RL:LP 秋RDB:VU	16 ハナカジカ	環RL:LP 秋RDB:EN
7 シナイモツゴ	環RL:CR 秋RDB:CR		
8 ギバチ	環RL:VU 秋RDB:VU		
9 アカザ	環RL:VU 秋RDB:CR		
10 ニッコウイワナ	環RL:DD		

### 侵略的外来種の記録状況

要注意外来生物	1 タイリクバラタナゴ
	2 ブラウントラウト
	3 ニジマス
特定外来生物	4 オオクチバス(ブラックバス)

和名黒: 文献・現地の両調査で確認  
 和名青: 現地調査で確認できなかった種  
 和名赤: 現地調査で新たに確認された種

## 《注目種》

### 環RLおよび秋RDBで絶滅危惧ⅠA類（CR）に指定されている種

#### ◆ゼニタナゴ

現在ゼニタナゴの生息が確認されているのは秋田県、岩手県、宮城県、福島県の4県で、各県とも生息地は限定されている。県内でも生息が確認されているのは数カ所で、生息環境は非常に厳しい。現地調査では横手地域の溜池で生息が確認された。

#### ◆シナイモツゴ

現地調査では平鹿地域の溜池で生息が確認された。シナイモツゴが減少する背景として、モツゴが侵入することにより雑種が出現し、数年でモツゴに置き換わる事例が多く認められている。現地でも周辺の溜池（下流）にはすでにモツゴが生息していた。

#### ◆トミヨ属雄物型

トミヨ属雄物型は秋田県雄物川水系と山形県最上川水系の限定された一部地域に生息する。平鹿地域にある一部の湧泉（トミヨ属淡水型と同所的に生息する）は県指定の天然記念物に指定されている。現地調査では平鹿地域の水路で生息が確認された。

### 特定外来生物に指定されている種

#### ◆オオクチバス

オオクチバスは北アメリカ原産で、日本各地の河川や溜池などに広く定着している。魚食性が強く在来種に大きな影響を与えている。秋田県では秋田県内水面漁場管理委員会指示により再放流（リリース）が禁止されている。現地調査では横手川や上溝川などの河川で生息が確認された。



ゼニタナゴ



トミヨ属雄物型



オオクチバス

# 鳥類

文献調査 対象文献:42  
 現地調査 河川:5地点×2回 溜池10地点×1回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	154種	108種	160種
重要種	52種	31種	56種
侵略的外来種	0種	0種	0種

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 チュウサギ	環RL:NT 秋RDB:DD	19 ヨタカ	環RL:VU
2 マガン	文化財:国天 環RL:NT 秋RDB:NT	20 サンショウクイ	環RL:VU 秋RDB:VU
3 ヒシクイ	文化財:国天 環RL:VU 秋RDB:NT	21 チゴモズ	環RL:CR 秋RDB:VU
4 オシドリ	環RL:DD	22 ヒレンジャク	秋RDB:VU
5 トモエガモ	環RL:VU 秋RDB:VU	23 キバシリ	秋RDB:VU
6 ミサゴ	環RL:NT 秋RDB:NT	24 ノジコ	環RL:NT 秋RDB:NT
7 ハチクマ	環RL:NT 秋RDB:VU	25 イスカ	秋RDB:VU
8 オジロワシ	文化財:国天 種保存:国希 環RL:EN 秋RDB:VU	その他:31種*	
9 オオタカ	種保存:国希 環RL:NT 秋RDB:NT	※ 秋RDBにおいてNTまたはDDに指定されており他の文献で評価されていない種。	
10 ハイタカ	環RL:NT 秋RDB:VU	和名黒:文献・現地の両調査で確認	
11 サシバ	環RL:VU 秋RDB:NT	和名青:現地調査で確認できなかった種 25種	
12 クマタカ	種保存:国希 環RL:EN 秋RDB:EN	和名赤:現地調査で新たに確認された種 4種	
13 イヌワシ	文化財:国天 種保存:国希 環RL:EN 秋RDB:CR	侵略的外来種は確認されていない。	
14 ハヤブサ	種保存:国希 環RL:VU 秋RDB:VU		
15 チゴハヤブサ	秋RDB:VU		
16 コチョウゲンボウ	秋RDB:VU		
17 オオジシギ	環RL:NT 秋RDB:NT		
18 コアジサシ	環RL:VU 秋RDB:VU		

## 《注目種》

### 繁殖が確認された種

#### ◆カンムリカイツブリ

カンムリカイツブリは秋RDBで準絶滅危惧種 (NT) に指定されている。秋RDBでも冬鳥として渡来すると記されており繁殖が確認されるのは珍しいと考えられる。  
 現地調査では、横手地域の溜池で雛を背中に背負う様子が観察された (下写真)。

#### ◆ササゴイ

ササゴイは秋RDBで準絶滅危惧種 (NT) に指定されている。本種は、夏鳥として渡来し、水田、湖沼畔、河原などに生息し、それら近くの雑木林やマツ林などで繁殖している。秋RDBでも繁殖例は少ないとされている。  
 現地調査では、横手地域の横手川河畔林にある巢内で抱卵する様子が観察された (下写真)。

#### ◆その他・サギ類コロニー

現地調査では、横手公園にある明水沼の畔にある林にサギ類のコロニーが確認された。コロニー内にはアオサギ、ゴイサギの他、秋RDBで情報不足種 (DD) に指定されているアマサギとダイサギの姿も見られた。



カンムリカイツブリ



ササゴイ



サギ類コロニー

# 両生類

文献調査 対象文献:6  
 現地調査 10地区×2回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	13種	14種	15種
重要種	4種	3種	4種
侵略的外来種	0種	1種	1種

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 トウホクサンショウウオ	環RL:NT
2 クロサンショウウオ	環RL:NT
3 アカハライモリ	環RL:NT
4 ニホンアカガエル	秋RDB:NT

### 侵略的外来種の記録状況

特定外来生物 1 ウシガエル

和名黒:文献・現地の両調査で確認  
 和名青:現地調査で確認できなかった種  
 和名赤:現地調査で新たに確認された種

### 特定外来生物に指定されている種

#### ◆ウシガエル

ウシガエルは、北海道南部から小笠原諸島、八重山諸島の広い範囲に導入されている。大型で極めて捕食性が強く、口に入る大きさであればほとんどの動物が餌となる。今回収集した文献の中では記録がなく、現地調査により平鹿地域の本堂の溜池で生息が確認された。

## 《注目種》



ウシガエル

# 爬虫類

文献調査 対象文献:4  
 現地調査 10地区×2回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	7種	8種	9種
重要種	1種	1種	2種
侵略的外来種	1種	0種	1種

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 タカチホヘビ	秋RDB:DD
2 シロマダラ	秋RDB:DD

### 侵略的外来種の記録状況

要注意外来生物 1 アカミミガメ

和名黒:文献・現地の両調査で確認  
 和名青:現地調査で確認できなかった種  
 和名赤:現地調査で新たに確認された種

### 横手市において新たに確認された種

#### ◆シロマダラ

シロマダラは日本固有種で、本州、四国、九州の各地のほか、奥尻から大隅までの島々に分布する。県内で発見し記録されている地点は少なく、秋RDBでは情報不足種 (DD) に指定されている。  
 現地調査では、増田地域の狙半内滝ノ下の路上で車にひかれて死亡している個体が採取された。

## 《注目種》



シロマダラ

# 哺乳類

文献調査 対象文献:6  
現地調査 10地区×2回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	15種	21種	23種
重要種	6種	9種	10種
侵略的外来種	0種	0種	0種

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 ジネズミ	秋RDB:VU	6 ユビナゴウモリ	秋RDB:VU
2 カワネズミ	秋RDB:VU	7 ニホンリス	秋RDB:N
3 キクガシラコウモリ	秋RDB:N	8 ツキノワグマ	秋RDB:N
4 モモジロコウモリ	秋RDB:NT	9 キツネ	秋RDB:N
5 ノレンコウモリ	環RL:VU	10 カモシカ	文化財:特天 秋RDB:N

和名黒:文献・現地の両調査で確認  
和名青:現地調査で確認できなかった種  
和名赤:現地調査で新たに確認された種

侵略的外来種は記録されていない。

### 《注目種》

## 横手市において新たに確認された種

### ◆ノレンコウモリ

ノレンコウモリは、国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。かつては生息確認地が非常に少なかったが、最近では22道府県62地点から記録がある。環RLでは絶滅危惧II類(VU)に指定されている。秋RDBでは評価されていないが、これは秋RDBが発行された時点では県内での記録がなかったためである。現地調査では、山内地域の相野々ダムで生息が確認された。



# その他の動物（底生動物）

文献調査 対象文献:33  
現地調査 河川:5地点×2回 溜池:10地点×2回

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	191種	168種	42種
重要種	17種	15種	9種
侵略的外来種	2種	2種	2種

※ 横手市生物種目録に示した種数は、水生昆虫類を除いた計数結果。

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 マルタニシ	秋RDB:NT
2 オオタニシ	秋RDB:NT
3 モノアラガイ	秋RDB:NT
4 ヒラマキズマイマイ	秋RDB:DD
5 ヒラマキガイモドキ	秋RDB:NT
6 カワシシユガイ	秋RDB:VU
7 マツカサガイ	秋RDB:NT
8 マシジミ	秋RDB:NT
9 イボビル	秋RDB:DD

### 侵略的外来種の記録状況

要注意外来生物 1 カネツケシジミ  
要注意外来生物 2 アメリカザリガニ

和名黒:文献・現地の両調査で確認  
和名青:現地調査で確認できなかった種  
和名赤:現地調査で新たに確認された種

# 植物

文献調査 対象文献:56  
現地調査 植物の調査地点:30地点

## 整理結果の概要

項目	文献調査	現地調査	横手市生物種目録
記録種数	1,426種	971種	1482種
重要種	217種	77種	230種
侵略的外来種	32種	28種	33種

※ 蕨苔類、車軸藻類を含む。

## 横手市における重要種と侵略的外来種の記録状況

### 重要種の記録状況

1 ホソバコケシノブ	秋RDB:CR
2 イチョウシダ	秋RDB:CR
3 イフトラノオ	秋RDB:EN
4 イワヤシダ	秋RDB:EN
5 オオアカウキクサ	環RL:VU 秋RDB:EX
6 ナガバノウナギツカミ	環RL:NT 秋RDB:CR
7 ネバリタデ	秋RDB:CR
8 エゾオオヤマハコベ	秋RDB:CR
9 サンリシソウ	秋RDB:EN
10 スハマソウ	秋RDB:EN
11 オキナグサ	環RL:VU 秋RDB:EN
12 メギ	秋RDB:EN
13 ミギワガラシ	環RL:VU 秋RDB:EN
14 タコノアシ	環RL:NT 秋RDB:EN
15 クサイチゴ	秋RDB:EN
16 モモンヅル	秋RDB:EN
17 ミヤマハハソ	秋RDB:CR
18 アケボノスミレ	秋RDB:EN
19 ミズキカシラサ	環RL:VU 秋RDB:EN
20 ホヰキノフサモ	秋RDB:EN
21 スギナモ	秋RDB:EN
22 オヤブジラミ	秋RDB:EN
23 ジンヨウイチヤクソウ	秋RDB:EN
24 アイナエ	秋RDB:EX
25 トウバナ	秋RDB:EN
26 キクモ	秋RDB:CR
27 ママコナ	秋RDB:EN
28 ミチノクワガタ	秋RDB:EN
29 ムシトリスミレ	秋RDB:EN
30 フサタヌキモ	環RL:EN 秋RDB:EN
31 キキョウ	環RL:VU 秋RDB:EN
32 オオガクビソウ	秋RDB:CR
33 ノニガナ	秋RDB:EN
34 マルバダケブキ	秋RDB:CR
35 ヒメヒゴタイ	環RL:VU 秋RDB:EN
36 イトリゲモ	環RL:NT 秋RDB:CR
37 イトイバラモ	環RL:EN 秋RDB:CR
38 ヤマラツキョウ	秋RDB:EN
39 ニラ	秋RDB:EN
40 ミズアオイ	環RL:NT 秋RDB:EN
41 ツクシガヤ	環RL:EN 秋RDB:CR
42 ヒナザサ	秋RDB:EN
43 セキショウ	秋RDB:EN
44 エゾミクリ	秋RDB:EN
45 タテヤマスゲ	秋RDB:EN

46 アゼガヤツリ	秋RDB:EN
47 セイタカハリイ	秋RDB:EN
48 スズマハリイ	環RL:NT 秋RDB:EN
49 テンツキ	秋RDB:EN
50 アオテンツキ	秋RDB:EN
51 キンセイラン	環RL:VU 秋RDB:EN
52 キンラン	環RL:VU 秋RDB:EN
53 コアツモリソウ	環RL:NT 秋RDB:EN
54 クマガイソウ	環RL:VU 秋RDB:EN
55 サウラン	秋RDB:EN
56 ツチアケビ	秋RDB:EN
57 ジガバチソウ	秋RDB:EN
58 ヒナチドリ	環RL:VU 秋RDB:EN
59 イチョウウキゴケ	環RL:NT 秋RL:CR+EN

その他:171種(秋RDBでEX, CR, EN以外の種)

### 侵略的外来種の記録状況

要注意外来生物 1	エゾノギシギシ
要注意外来生物 2	ハルザキヤマガラシ
要注意外来生物 3	オランダガラシ
要注意外来生物 4	イタチハギ
要注意外来生物 5	ハリエンジュ
要注意外来生物 6	イチビ
特定外来生物 7	アレチウリ
要注意外来生物 8	メマツヨイグサ
要注意外来生物 9	アメリカネナシカズラ
要注意外来生物 10	ワルナスビ
要注意外来生物 11	ヘラオオバコ
要注意外来生物 12	ブタクサ
要注意外来生物 13	オオブタクサ
要注意外来生物 14	カミツレモドキ
要注意外来生物 15	アメリカセンダングサ
要注意外来生物 16	オオアレチノギク
特定外来生物 17	オオキンケイギク
要注意外来生物 18	ヒメムカシヨモギ
要注意外来生物 19	ハルジオン
要注意外来生物 20	クイイモ
要注意外来生物 21	ブタナ
特定外来生物 22	オオハンゴンソウ
要注意外来生物 23	セイタカアワダチソウ
要注意外来生物 24	オオアワダチソウ
要注意外来生物 25	ヒメジョオン
要注意外来生物 26	オオオナモミ
要注意外来生物 27	コカナダモ
要注意外来生物 28	キシウブ
要注意外来生物 29	メリケンカルカヤ
要注意外来生物 30	カモガヤ
要注意外来生物 31	シナダレスズメガヤ
要注意外来生物 32	オニウシノケガサ
要注意外来生物 33	オオアワガエリ

和名黒:文献・現地の両調査で確認  
和名青:現地調査で確認できなかった種  
和名赤:現地調査で新たに確認された種

横手市において新たに確認された種

◆ナガバノウナギツカミ

ナガバノウナギツカミは池沼や溜池の周辺に生えるタデ科の植物で、県内では刈野東部で記録されている。環RLで準絶滅危惧 (NT)、秋RDBで絶滅危惧種 I A類 (CR) に指定されている。

現地調査では、雄物川地域の鍛冶台湿原(鍛冶台いこいの森)で生育が確認された。



ナガバノウナギツカミ

◆ツクシガヤ

ツクシガヤは水湿地に生えるイネ科の多年草で、県内では刈野で記録されている。環RLで絶滅危惧 I B類 (EN)、秋RDBで絶滅危惧種 I A類 (CR) に指定されている。

現地調査では、横手地域の戸川の水辺で生育が確認された。確認されたのは2箇所、1箇所は中州に数株が、もう1箇所はコンクリートで護岸された箇所に数株が生育していた。



ツクシガヤ

◆タコノアシ

タコノアシは河川の水際で常に冠水するような不安定な立地に生育する種である。環RLで準絶滅危惧 (NT)、秋RDBで絶滅危惧種 I B類 (EN) に指定されている。

主に河川の中下流域に生育する種であるが、現地調査では、横手地域の御嶽山の麓に位置する吉沢川(横手川支流)の上流部で生育が確認された。生育していた場所は林道の法面が崩れ、水がしみ出して湿っている場所で、局所的に数株が生育していた。



タコノアシ

◆イトトリゲモ

イトトリゲモは環RLで準絶滅危惧 (NT)、秋RDBで絶滅危惧種 I A類 (CR) に指定されている。

現地調査では、横手地域の睦成一ノ坂の溜池で生育が確認された。当溜池では同じイバラモ科に属するイトイバラモの生育情報が得られていたが、イトイバラモは確認できず、イトトリゲモが確認された。現地では、池の広い範囲にイバラモ科の植物が生育していたが、優占種の遷移が起こった可能性がある。



特定外来生物に指定されている種

◆アレチウリ

アレチウリは北アメリカ原産で、日本では全国に分布している。林縁、荒地、河岸、河川敷、路傍、原野、畑地、樹園地、造林地などに生育し、日当たりのよい場所を好む。様々な土壌に生育できるが、腐食質の多い沖積地を好むため、有機質の多い汚染された河川の河岸に非常に多い。全国の河原や林縁で大繁殖し、在来植物と競争し、駆逐している。飼料畑でも大発生して農業被害が生じている。

現地調査では、平野部である大雄地区の四ツ屋農村公園の他、山間部の御嶽山麓(萱峠・白滝観音に向かう遊歩道)でも生育が確認された。



アレチウリ

◆オオハンゴンソウ

オオハンゴンソウは北アメリカ原産で、日本では全国に分布するが、中部地方以北の寒冷な地域に多く北海道、福島県、長野県、岐阜県では大群落が見られる。路傍、荒地、畑地、湿地、河川敷などに生育する。自然公園内の湿原や溪畔林といった自然度の高い環境に侵入・定着し、湿原植物等の希少な在来植物と競合し、駆逐するおそれがある。

現地調査では、31地点で植物相調査を実施したうちの9地点で生育が確認され、文献とあわせると横手市の全ての地域で生育が確認されている。



オオハンゴンソウ

この資料は、「平成23年度 緊急雇用創出事業 横手市生物実態調査」の内容について、概要をとりまとめたものです。